

平成28年度 第2学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く力を育てたい。 - 身近な物事を簡単に説明する文章を書いたり、想像したことなどを文章に書いたりすることができるようにする。 - 紹介したいことや伝えたいことを、メモにまとめたり文章に書いたりすることができるようにする。 【工夫】 ☆補助資料の活用 - 自分の意見が書きやすいように、ワークシートの構成を工夫したり、ワークシートに合わせた板書を行ったりした。 ☆相互の学び合いと手立て - 考えや意見をペア、グループなどで共有し、考えや意見が深められるような話し合いの場をつくった。	☆ことばの吟味 - よく考えられているところを認め、支援が必要なところにも応用して書くことができるように助言していく。 ☆補助資料の活用 - 登場人物の気持ちを書いたり、想像したことを文章に書いたりするときに、ワークシートに吹き出しを作ったり、場面ごとに絵を掲示して順序を分かりやすくするなどして、気持ちを書きやすくする。
算数	【課題】 ☆自分の考えたことを表現したり、友達に説明したりする力を育てたい。 - 見通しをもち、筋道を立てて考えることができるようにする。 - 具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表などを用いたりして、説明することができるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し - 教師が式、図、表などを使って説明する方法を例示し、児童がどのように説明したらよいかを示した。 ☆ことばの吟味 - 机間指導では、具体物を用いたり、式、図などを用いたりして児童の理解が深まるような支援を行った。	☆相互の学び合いと手立て - 具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表などを使ったりした説明をたくさん経験させ、自分の意見の説明に適したものを考えられるようにする。 - 一つの課題に対して、複数の児童で何度も説明することを通して、より良い説明のしかたを考えていけるようにする。 ☆評価 - 友達の考えや説明のよさに気づき、取り入れるようにする。
生活	【課題】 ☆多様な活動や体験を通して気付いたことを、言葉などの様々な方法で表現して、気付きの質を高めることができるようにしたい。 - 見付ける、比べる、たとえるなどの諸感覚を生かした豊かな体験を行うようにする。 - 活動や体験を通して感じたことを、言葉などの様々な方法で表現し、気付きの質を高められるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 - 町探検で気付いたことを、大きな地図に付箋をつけて可視化したり、ミニトマトの観察では、前の観察結果と比較して観察したりした。	☆相互の学び合いと手立て - ペア、グループでの意見交換などを通して、自分の気付きと似ているところや違うところを探し、自分の考えを深められるようにする。 - 発表に向けての練習時間を多くとったり、互いの発表を見合ったりすることで、表現する時に何をどのように伝えたらよいかを考えて、相手に伝わる発表になるようにさせる。
体育	【課題】 ☆秩序正しく、能率的に行動するために必要な、基本的なものを身に付けて、各種の運動を楽しくできるようにしたい。 - 順序やきまりを守って運動をしたり、協力して仲よく運動をしたりする。 - 協力や公正などの、運動を实践する場合に必要な態度を身に付け、楽しく活動できるようにする。 【工夫】 ☆ことばの吟味 - 知識理解ではなく、興味関心をひくような言葉かけを行った。 ☆教材の開発と工夫 - 集合・整列をゲーム形式にして、指導を行った。	☆指導目標の明確化と学習の見通し - 指導目標を明確に示すことで、勝敗よりも協力してこうどうするなどの共同的な活動に視点を置かせるようにさせる。 ☆教材の開発と工夫 - 協力して運動したり、運動を楽しんだりすることを一番に考えられるような学習活動を設定する。 - 児童の実態に合わせて、活動内容やルールなどを考えて、活動していく。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		

